



卒業の日に。



本日、令和2年度卒業証書授与式を挙行了しました。新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、保護者の皆様のおかげで無事に今日の日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

卒業式の式辞を掲載いたします。卒業生に向けた餞(はなむけ)ですが、保護者や地域の皆様に対する感謝の思いも込めました。ご一読ください。

式 辞

卒業生の皆さん、ご卒業、本当におめでとうございます。保護者の皆様、お子様の晴れのご卒業、心よりお喜び申し上げます。本日の卒業式、限られた条件のもとではありますが、心を込めて執り行わせていただきます。PTA会長様、ご来賓の皆様を代表してご臨席を賜り、誠に感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

在校生代表の〇〇〇〇さん、ありがとう。そして、教職員の皆にあつては、卒業生一人一人に対し、熱い思いをもって教育に当たってきたことに、心より感謝します。

卒業生の皆さん、新型コロナウイルスの影響で、小学校の集大成としてのこの1年、できなかったことや不自由をかけたことがたくさんありました。しかし、本日、うららかな春の日に、こうして皆さんと卒業式を開催することができたことを心からうれしく思います。

私の脳裏には、皆さんの笑顔あふれる生き生きとした姿が焼き付いています。

スポーツフェスティバルでのたくましい棒引き。晴天のもと、保護者、地域の皆様に見守られて演奏した堂々の鼓笛パレード。

会津への修学旅行でのチームワーク。おいしかった晩ご飯。

通学班で下級生を導き守るリーダーシップ。

真剣に授業に臨む姿。休み時間、校庭で遊ぶキラキラした姿まで、かけがえのない宝物として私の中に残っています。皆さんは本当に素晴らしい卒業生でした。

今年は、できなかったことや不自由だったこともあったけれど、がんばって対応してきたことや工夫をしてできたことも多かった年です。この経験は、皆さんにとって、とても大きな意味を持ちます。

大事なことは、できなかったことや不自由だったことは、つらかったけど、進行形ではあるけれど過去であるということです。皆さんがこれまで生きてきた十二年の過去と現在は、これから八十年以上ある皆さんの未来のために存在します。

今年の経験や思いを皆さん一人一人の限らない未来への糧として生かすのです。一番の財産は、「家族、友人、学校、社会、世界、そしてその中で生きる自分」という人間同士のつながりに目を向けざるを得ない経験を今しているということです。自分は人と人とのつながりの中で何を為していくかという思いを、自分と関わるすべての人への感謝の気持ちとともに大切にしていってください。

人間には、困難に打ち勝ち、前に進んでいくたくましい力があります。私たちは皆、未曾有の震災や原発事故を乗り越えて今、たくましく生きています。

人類は新型コロナウイルスも必ず乗り越えます。

卒業生の皆さん、明日からも、しっかりと学問を修め、心身を鍛錬し、友と語り合いながら、困難を乗り越え、自らの力を信じて一步一步たくましく歩んでいってください。皆さん一人一人のこれからの、たくさんの素晴らしいことがあることを願って式辞といたします。

令和3年3月23日 福島市立平野小学校長 高橋 健一

1～5年生の皆さんも、進級おめでとうございます。皆、本当によくがんばりました。新しい春がまた巡ってきます。新年度もよろしくお願いいたします。

※ 春休み中も油断せず感染症対策をお願いします。ご心配な点等ありましたら学校までご連絡ください。